



NPO PTPL “ともいき” 便り No.47

■啓蟄（けいちつ）

3月6日から3月20日までの節気

（2014年3月6日発行）

例年だと、春の訪れが感じられる時季ですが、今年は寒波の影響で大雪が続いたり、なかなか春の訪れの実感がありません。しかし、各地から梅や花の便りも届き、確実に春へと近づいています。

啓蟄の節気です。「啓」は開く、「蟄」は虫が冬ごもりをするという意味です。土の中で冬を越してきた虫たちが、太陽の暖かさを感じて姿を現すころです。ナズナやハコベ、タンポポ・・・散歩道に春の気配！木の芽もぷっくりふくらみ始めます。

この啓蟄の節気には、日本人にとって忘れられない大きな出来事が起こった期間です。

一つ目は昭和20年3月10日の東京大空襲です。300機以上のB29により現在の台東区、江東区、中央区を中心の大規模な爆撃で、折からの北からの強風も重なり、10万人以上の犠牲者が出たと言われています。

69年目を迎えた今年、当時の市民らがどう逃げ、どこで亡くなったかをまとめた巨大地図（「東京大空襲 いのちの被災地図」）を東京大空襲・戦災資料センター（東京・江東）の研究者らが完成させました。この地図は、未明の爆撃に驚いた多くの人が、逃げ込んだ小学校や橋などで集中的に犠牲になった様子が浮き彫りになっています。3月1日から同センターで一般公開されています。

二つ目は、2011年3月11日に東日本大震災です。発生から早くも3年が経ちます。未だに多くの被災者の方々が仮設住宅暮らしや慣れない地域でご苦労されています。やっと復興事業も国主導でスピードが加速されそうですが、主役である住民の意見を反映した計画がなくしては復興事業は成し得ないのではな

いでしょうか？ そうでないと神戸市長田区の建物は立派に出来上がっても、生活者がいない町になるような二の舞になりかねないと危惧します。

この二つの大きな出来事を通して、私たちは大きな教訓を得ました。一つ目は、戦争という名のもとに非戦闘員をターゲットにした人間の行為の恐ろしさであり、二つ目は、大地震と大津波という自然の恐ろしさです。この二つの出来事で得た教訓はしっかりと後世に伝えていくことが、現在、生きている日本人の務めではないでしょうか？

私たち日本人は困難で悲惨な出来事があっても、きっと立ち上がることでしよう。実際、戦後の復興には目覚ましいものがあります。それは、日本人には「ともいき」という価値観・生活観」と「ともうみ」という想像力と創造性」を古より受け継いでいる国民だからと思うのです。

いま、NPO PTPL では「日本の本質、それは日本的なるもの“ジャパネスク”プロジェクトを理事長である勝田祥三が中心となって進めています。この便りやFB「ともいきぐらし」(<https://www.facebook.com/tomoikigurashi>)で展開し始めました。まもなく、サイトも立ち上がります。ご期待ください。

文：佐藤 誠 (NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 事務局)

■ ともいき・ともうみ雑感彼是

日本人の感覚、ジャパネスク。

- 私たち日本人がふとしたはずみに感ずるもの、例えば、桜吹雪、梅の花に積もった雪、虫の声、畳、富士山、湯気の立つ味噌汁、黄葉・紅葉、月の満ち欠け、小鳥の囀り、セミの声などなどに接した時の心の和みと郷愁。それらに共通したものは何なのでしょう・・・。
- 日本人は「初」に対する思いを大切にしてきました。「初〇」というと初々しさが強調されます。つまり初めて出会うものに感動を寄せてきたのです。季語辞典で調べても「初〇」はたくさんあります。

「初嵐」「初市」「初午 (はつうま)」「初鯉」「初鴉 (はつがらす)」「初潮」「初雀」「初空」「初便り」「初鶏 (はつとり)」「初風 (はつなぎ)」「初荷」「初花」「初菊」「初春」「初日」「初富士」「初蝶」「初詣」「初雪」「初夢」

「初節句」「初虹」「初盆」「初秋刀魚」など。

- 日本では魚介類、野菜、果物などがよく採れて、最も味のよい時季を「旬」と呼んで珍重しました。（「旬」にも「はしり」「さかり」「なごり」とあり、とても細やかです。）

旬を味わうと健康によく、長寿になるといわれ、感謝しながら賞味します。
（物事を行う最もよい時期にも「旬」は使われます。）

- ※ 五感が勝れ、その結果としての総合力である第六感がとても発達していたの
でしょう。

人と人、人と自然の「ともいき」から生まれた日本人の繊細な感覚でしょう
か？ このような感覚、とても魅力的ですね。



勝田 祥三 (NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 理事長)

■ 事務局だより

- 事務所を虎ノ門に移転してから、早2ヶ月以上過ぎました。事務所の窓からはご存知の方も多くいらっしゃると思いますが、マッカーサー道路の工事の様子が眺められます。この道路のユニークなところは今、建設中の森ビルの超高速ビルの1階部分がトンネルになっているところです。ところでこの道路の両サイドはどこにつながっていくのでしょうか？

- 虎ノ門の事務所は貸事務所タイプなので、内装がどうしても殺風景になりがちです。そこで、こここのところ勝田理事長が自宅で育てた切花や植木を持参して、狭い事務所ですが少しでも和みの空間が作っています。ぜひ、お近くにお越しの際は、ぜひ、お立ち寄りください。お待ちしております。

- Facebook「ともいきぐらし (<https://www.facebook.com/tomoikigurashi>)
「おらが富士計画 ふるさと富士山探し」、特に、おらが富士では先々週より東京の富士塚の取材リポートをアップしています。
(<https://www.facebook.com/oragafuji>) をご覧ください。そしてご意見、ご感想をお寄せください。お待ちしております。

■ お問い合わせは

NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 事務局 担当：佐藤
〒105-0001 東京都港区虎ノ門 1-2-18 虎ノ門興業ビル7階
電話：03-6205-7503
FAX：03-6205-7504
Email：info@plantatree.gr.jp